

## 雷舞 絶叫！熱狂！ トークショー！

4月12日 東京・山野ホール

情熱と高揚感に溢れた夢のステージ！



出演者は山崎紀章さん(坂本龍馬役)、鈴木達央さん(高杉晋作役)、森川智之さん(土方歳三役)、小野賢章さん(沖田総司役)の4名。司会はパロン山崎さんが務めた。

**超絶頂 絶叫名録**  
**「第一回」坂本龍馬**  
 日本にRockを轟かせてみせるぜよ！  
 活動漫画アニメ化で一番期待していることはなんですか？  
 わしらの歌が、日の本いっばいに轟くことじゃ！ 観望雷舞(ビジュアルライブ)と一緒にシャウトするぜよ!!!  
 高杉さんと桂さんの印象を聞かせてください。  
 そうじゃな、シンディーとセンセーって感じじゃ！ほえ？シンディーとセンセーが何かって？うーんシンディーはシンディー、センセーはセンセーじゃ。人も大好きじゃよ!!

**RYOMA SAKAMOTO**  
 Rockを愛し、Rockで一旗志士あふやうとター1本で(口ぶっかかー)。熱情(パッション)で満ちあふれているが、勢いで突っ走りがちな一面も……

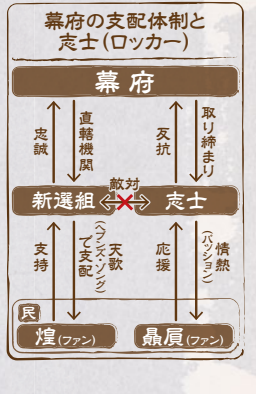
## 日本の音楽事情考察 『幕末Rock』のバックグラウンドを分析

日本の音楽情勢が大きく動こうとしている。現在の日本では、徳川幕府が定めた「天歌(ヘブンス・ソング)」以外を歌う者には重い罰則が課せられているが、さほど大きな問題となることはなかった。それは「天歌」を歌う「最高愛獲(トップ・アイドル)新選組」の存在が大きい。

彼らは、焔(ファン)と呼ばれる熱心な支持者の応援のもと、「天歌」の魅力を全国へ轟かせ、日本の泰平化に尽力した。

ところが、近ごろ「天歌以外が歌えない」ことに反発する者たちが出現した。体制に対する強い反抗心を歌った、西洋の「Rock」なる音楽を愛する者たちである。彼らは「志士(ロッカー)」と呼ばれ、焔(ファン)と呼ばれる支持者を増やしているという。「新選組」のお藤元、京の都では「志士」たちが突如雷舞(ゲリラライブ)を行っているという報告もある。

幕府はこの状況を問題視し、彼らの熱情(パッション)に身を任せた音楽が民の魂(ソウル)を揺さぶるとして、「新選組」による取り締まりを強化している。果たして、「天歌」と「Rock」の対立はどのような方向へ向かっていくのだろうか。事態を注視したい。



**MONTHLY RECOMMEND**

幕末Rock 超絶頂★ソング 坂本龍馬 (CV: 谷山紀章)

「Crash My Head」は「情熱(パッション)を浴びせたい!」「お前たちの頭の中のモヤモヤをぶっ壊す!」という、日本の音楽革命を目指す龍馬のストレートな思いが描かれている。志士(ロッカー)とはいかなる人間なのか……?まさにその答えが見つかった、龍馬ひいては志士の所信表明的な1枚。

2014.5.9 ON SALE ●1,200(十税)

ルにて開催された。開演と同時に会場が暗転すると、ステージに山崎紀章さん、鈴木達央さん、森川智之さん、小野賢章さんが登場し、4人による朗読劇が繰り広げられた。キャラクターに扮した4人がイベントへの意気込みを語る。そのまぎれなく「幕末Rock」の主題歌「What's this?」の雷舞(ライブ)がスタート。雷舞が行われることはシークレットだったが、会場も大きな盛り上がりを見せた。

雷舞のあとは出演者によるトークショーへ。活動漫画(アニメ化)への意気込みや今後の展開への期待が語られ、「お題トーク」では3つのテーマでトークが交わされた。

トーク内容は「作品のオリジナルグッズ」、「Rockなマイブーム」を考案するというもの、過激発言を連発する山崎さんと鈴木さん、そんなおふたりをイジられる小野さん、そしてうまっフォロワーにまわる森川さんと、4名の個性が存分に発揮され、会場に爆笑を

誘った。

このほか、あるワードをRockに叫ぶ「絶叫!熱狂!ホイストバトル」や、超絶頂「エクスタシー」な言葉を考える声技(セイギ)で超絶頂のコーナーも。こちらでもキャスト陣はギリギリを攻める発言で挑んだ。

その後、ゲーム「幕末Rock」のテーマソングを歌う「vibe」や、桂小五郎役の森久保祥太郎さんからのビデオメッセージが公開された。続いては4人のソロ雷舞。4名がそれぞれのキャラクターソングを1曲ずつ熱唱し、会場の熱気が最高潮に達したところで、雷舞コーナーは幕を下ろした。

最後は大抽選会が行われたほか、「雑誌」PASH!7月号からコミカリスがスタートすることが告知された。そして、出演者がイベントの感想と活動漫画化への意気込みを語り終ると、4人が「烈(レック)」と叫び、会場のファンが「Rock!!!」と応えて、イベントは大盛況のうちに終了した。

「わしらの山の中を彷徨ってらんじゃ……ううう、わしら……このまま山の中で行き倒れてしまふのかお……?」

「泣くな!弥太郎。男じゃる!とはいうものの、腹が減ったお……Rockをやれば気が……」

「わしは京の都目指して、もう3日も土佐の山の中を彷徨ってらんじゃ……ううう、わしら……このまま山の中で行き倒れてしまふのかお……?」

「泣くな!弥太郎。男じゃる!とはいうものの、腹が減ったお……Rockをやれば気が……」

「アホウ!わしは決して後戻りはせんぜよ!進むんじや!」

「前に進むんじや!それがRockじゃよ!」

「わしらは進む!前へ!ほれみる!町が見えなせよ!」

「見ろ!弥太郎!遂に京の街に着いたぜよ!」

「はははは……龍さん……あはや、土佐の城下町じゃ!」

「へ?」

「迷ってらううちに、後戻りしちゃったようじゃの……大体京に行くには海を渡らんとらんぜよ!」

「京の都は……進めよ!」

「ははは!そうかそうか!じゃ逆へ行けば、いいんじやな!よかったの、弥太郎!方向が分ったぜよ!」

「まっ……龍さんはボジティブじゃお……!」

「よし!廻れ右!改めて京の都へ出発じゃあ!」

「さらばじゃ、我が故郷、土佐!待ってこれよ、京の都!坂本龍馬が今、Rockと共に行くぜよ!!」

載説 連小 幕末Rock Another Track

Track 01: Ryoma

著: 山崎紀章